

幕末維新史 への招待

町田明広 編

日本史上の転換点を理解するための良質な入門書。

「論点」ごとにわかりやすく解説！

ほか、第一線で活躍する専門家たちが、日々進化する研究動向について、

- 諸外国による植民地化の危機はほんとうに低かったのか？
- なぜ条約締結に勅許が必要だったのか？
- 幕府海軍は明治政府へ引き継がれたのか？
- なぜ薩長は新政府の主導権争いに勝てたのか？
- 明治維新はどのように論じられてきたのか？

世の中の常識と乖離する、 最新時代の像を知る！

書誌情報

- 定価：1,980円（本体1,800円＋税10%） ● ISBN:978-4-634-15231-1
- ページ数：280ページ ● 判型：四六判並製
- 発行日：2023年4月20日

内容紹介

- 第1部 「幕末」とはどのような時代なのか
〈世界情勢〉〈鎖国〉〈尊王思想〉〈社会の様相〉
- 第2部 ここまでわかった！ 朝廷・幕府・諸勢力
〈朝廷〉〈幕府〉〈一会桑勢力〉〈薩摩藩〉〈長州藩〉
- 第3部 再検証！ 幕末維新史の転換点
〈ペリー来航〉〈違勅調印〉〈倒幕と討幕〉〈陸軍・海軍建設〉
- 第4部 「幕府の終焉」と「戊辰戦争」は自明だったのか？
〈薩長同盟〉〈大政奉還〉〈戊辰戦争〉〈新政府の組織〉〈明治維新の帰結〉

幕末維新史 への招待

町田明広 編



キーワードで読む全21章。幕末維新史研究の現在がわかる！